

でないかと。ありきたりの料理より、新鮮な味と海辺ならではの野趣が楽しめると思います。

グリーンツーリズムも推進して欲しいことの一つです。民泊は受け入れが難しいですが、欧米のB&B(宿泊と朝食付きの宿泊施設)式でもいいのでは。毎回でなくても、夕食は外で食べる。地元の食材を使った農家レストランのようなものがあるといいですね。民泊の負担を減らす方策を考えればいいと思います。さらに農作業、地引網、干物を作るなどの体験メニューを組み合わせるかどうか。海山両方の体験ができるのも、岩美町の特色の一つだと思います。

とにかく、岩美町は自慢できるふるさとです。お二方もおっしゃっています。人が、人に知られなくては話にならない。もっとアピールすることが必要なのではないのでしょうか。

◎全国的に少子化が問題になっていますが、本町でも人口の減少が予想されています。人が定住する住み良い、魅力のある町になるためには何が足りないのか、あるいはどうすればいいのかご意見を聞かせてください。

町長 昭和29年に岩美町が誕生した時は約2万人の人口がありましたが、平成17年国勢調査では、13、270人まで減っています。高齢者比率は28%を上回り、対して出生児の数は1年間に80人くらいになっています。

町を活性化するには、やはり人口を増やしていく、定住化をいかに促進するかということが重要になります。総合計画でも重点プロジェクトに掲げていますが、定住対策としてそれぞれの施策を連携してやるうと考えております。特に、どうしたら若者が定住してくれるのかということ。やはり環境であり、働く場所になると思いますが、土

地的な面積の広がりや地盤の問題などで企業の誘致合戦になかなか勝ち抜けないという現状です。

澤…人口減少、都市への流出というのは日本全国どこでも共通しているわけです。岩美町内でも山間部から町部へ人が流出するという感じです。

こういう状況の中で岩美町の人口減少を抑えるには、よその市とか地域に対してより魅力的であるかどうかという話なのです。それには「何処かに行くのならば岩美町に行ってみようかな」と思ってもらうことです。例えば、鳥取の中でも他の町村に勝る何かを持つということなのです。

三浦…澤さんの言われるとおりだと思います。長野県飯田市の隣村が非常に魅力的な政治をしていて、そこに若い所帯がどんどん入って来る。仕事は飯田市です。住民税を払うわけですから村は少し裕福になり、人口も増えてきたという事例があります。それは何故かという教育とか、医療に対して手厚い施策をしているのです。そういうことを何か考えてやっていると岩美町がいいということになると思います。

もう一つは、定住者を増やすには町でする仕事があればと。何かの番組で見ただけですが、フランスの村でそこに昔からあった豚をある人が苦労して、産業として成り立たせ、その村が裕福になり、皆が住むようになったとか。その村々の特徴を活かして、成功した例があります。これらは実例を見ると、村を起こそうという意欲がある人が出て来